



令和 7 年 1 1 月 2 6 日

広島大学附属学校園の機能強化策について

広島大学附属学校園の機能強化策について、令和 5 年 3 月に発表した福山地区及び幼稚園の取組に加えて、令和 9 年度以降の取組を整理しました。概要は以下のとおりです。

< 概 要 >

本学附属学校園が、大学と一体化して、我が国の初等・中等・高等教育を包括した教育改革を牽引できるよう、附属学校の本来の使命や国の教育政策を踏まえ、それぞれの附属学校園の役割・学校種・規模の見直しを行います。

< 翠地区（附属小学校・附属中学校・附属高等学校） >

本地区は、これまでの SSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）などの実績を踏まえ、本学附属学校園の先導的・実験的な教育研究拠点とします。高度かつ国際的に通用性の高いカリキュラムの開発などの教育研究を展開します。

< 東雲地区（附属東雲小学校・附属東雲中学校） >

本地区は、令和 1 1 年度から附属東雲小学校・附属東雲中学校を「附属東雲義務教育学校」に改組し、小中一貫カリキュラムをはじめ、これまでの複式学級の研究を発展させた異年齢学級や特別支援学級を活かした多様性の教育の研究拠点とします。

< 三原地区（附属幼稚園（三原園舎）・附属三原小学校・附属三原中学校） >

本地区は、附属幼稚園（三原園舎）と附属三原小学校が同じ敷地にあり、地元三原市などとの人事交流が活発な特長を活かし、幼小連携・公立学校のモデルとなる研究を行う拠点とします。幼小連携教育とともに、公立学校の課題について、教育委員会・大学と協働して課題解決を図る仕組みを創設し、その解決を図ります。

また、各学校の学級定員を、公立学校の実態や各地区の役割・機能などに合わせて変更します。

【お問い合わせ先】

教育室附属学校支援グループリーダー 森根
TEL:082-424-6961 FAX:082-424-6968